

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 つくべた門司2nd		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 8日		～ 令和7年 12月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 22日		～ 令和7年 12月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心して過ごせる療育環境・雰囲気を作っている	<ul style="list-style-type: none"> 清潔で落ち着いた環境を整備している 活動内容に合わせてエリアを調整したり、スケジュールやタイマーを使って安心して過ごせるように努めている 保護者様とお子様の成長を共有できるように連絡帳等を活用している 個別スペースの確保を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 柔軟な環境づくりを行い、その意図や工夫を、保護者様にも分かりやすく伝えられるように努める 事業所内外とも情報共有を図り、新たな視点や気づきのもと、職員一同子供たちにとってより良い支援を提供できる事を今後も目指していく
2	日常支援における丁寧な関わりや専門的な視点による支援	<ul style="list-style-type: none"> 本人の調子に合わせて、日々のスケジュールや、支援の方法を工夫している 子どもたち同士の関わりも大切にしながら、本人の特性と子どもの成長に合わせた支援を検討している 法人内の子小児部署との連携も図りながら、より専門的な評価や視点が取り入れている 	<ul style="list-style-type: none"> 支援のねらいや関わりを簡潔に伝えられるようになる、家庭で活かしやすい関わり方の共有していくなど、専門性追求を今後も行っていく 毎日の振り返りを通じて、子どもの様子や情報を共有するだけでなく、支援の工夫点・改善点などのテーマを明確にした事例検討なども取り入れていく
3	安心・安全への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画、マニュアルに沿って虐待防止、身体拘束の適正化について検討や対策を行っている 安全計画に基づき、各種訓練を実施し、その内容などは、つくべた門司2nd便りで、毎月公表している 安心を目標に掲げ、日々子どもの尊厳を大切に支援を心がけている 	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全への取り組み内容についてはホームページ等での周知もけんとうしていく 安心を目標にその達成状況を定期的な振り返り、定量的な指標の導入も検討していく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部機関・地域連携が見えにくい	<ul style="list-style-type: none"> 子供ごとに必要な関係機関と情報共有を行っているが事業所全体での交流機会はない点 並行登園(地域の園に登園しながら療育)を行っている利用児が大多数しめており、地域の子どもと活動する機会はあるがその部分の周知が不足している点 地域の公共施設への外出、イベントへの周知が十分でない点 	<ul style="list-style-type: none"> 適時連携状況の報告やイベント案内・周知をする 並行登園(地域の保育園等+療育)利用児の適切なタイミングでの地域移行の推進を検討していく 外部機関との関係づくりや、地域連携・移行へ向けた取り組みを今後も推進していく
2	緊急時の具体的対応についての周知が不十分	<ul style="list-style-type: none"> 「まだ利用したばかりでわからない」等のご意見あり 今後のイベント・訓練予定などの今までの情報を確認する方法が不足している点 職員間での共通認識がズレている可能性 	<ul style="list-style-type: none"> 日ごろからもしもの事態も想定した定期的な訓練を今後も実施し、実施状況の報告を強化する 職員間での認識のズレがないか定期的に話し合いを作る 今後も適切な配置人数、業務効率化を考慮した運営を行う 保護者の協力も得た、緊急時対応の訓練を検討する
3	第三者視点を取り入れる機会が少ない	<ul style="list-style-type: none"> 他事業所と情報共有は行っているが、直接的な支援提供場面を確認、助言を求める機会が少ない点 	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修や助言を取り入れる 園での様子や他施設での様子なども積極的に確認していきける機会を作り、学びを職員間で共有し支援に活かす 職員間での振り返りや自己評価を実施していく